

## グループディスカッション ワークシート（要点まとめ） グループ名 C

【テーマ】「大人から子どもまで障害のある方を理解し支え合う武蔵野市を目指して  
～実現のために自立支援協議会ができること～」

### ワーク1：「各部会の活動報告を受けて」

- ・5年ぶりの対面での開催が出来た点が良かった。
- ・居場所に繋がらない人がいる点は全部の部会に繋がるのではないかと感じた。
- ・居場所というキーワードが大事。たまにいくつか行ける場所があるだけで大きく違う。
- ・相談支援をスタートにして居場所というキーワードが出てきた点が興味深かった。
- ・地域移行部会は過去からの継続であったため、比較的絞りを絞りがやすかったが、他の部会は絞りを絞るのが大変であったのではないかと感じた。
- ・相談支援ネットワーク部会は1からのスタートであったため、最終的に形にできて良かったと感じた。地域移行部会は他自治体と繋がりがながらテーマに取り組んだりといった協働があり良いと感じた。
- ・地域活動支援センターがありながらも他の居場所を考えるというのは複雑な思いもあった。

### ワーク2：「今後の協議会活動に向けて（課題と目標）」

ワーク1を踏まえ、今後本協議会が取り組むべき課題と目標などを意見交換する

- ・障害種別にこだわらない形をつなげた方が良い場合と、障害の種別を活かしてつなげた方が良い場合の両方のパターンあり。地域活動支援センターの雰囲気になじめる人となじめない人がおり、やってみないとわからないところもあった。
- ・誰が行っても良い場所、何もなくても良い場所、そこにいるだけで良い場所で30年近く続いているところ（市外）がある。多種多様な人がいてご飯を食べたりして近況報告をする程度。縛りが極端に緩いがそこに行くだけで落ち着くような場所があると良い。
- ・障害者雇用で仕事をした経験があるが、お互い違う障害に対する理解が進まなかった。理解を深める目的で当事者部会に参加した。
- ・SNS等で情報が得られやすくなっていることもあり、親同士で強くつながる必要がなくなっている。だからこそ、ゆるく長く繋がる機会が必要になっていると思う。練馬の「ドネーションカフェ」の雰囲気が良く、こういった場所があると良いと感じる。いつだれが来てもよく、支払う額も本人の経済状況に応じて本人が決められるシステムになっている。
- ・インターネットで調べるなどして情報をたくさん持っている人も多数いるが、障害者の多様性を理解していないケースもあると感じる。

- ・大きな課題としては居場所であると感じる。その中にグループホームや施設等があり、それを取捨選択できると良いのでは。
- ・当事者がどのような居場所を求めているのかは当事者部会に出たり、「ドネーションカフェ」を視察したりしてヒアリングしたい。
- ・当事者だけで開催している「まがりカフェ」というカフェが都内にある。地域活動支援センターが終わった後の時間で開催している。地域活動支援センターだけでなくそうした場所もあると良いのでは。
- ・直接実施するだけでなく、当事者カフェなどを既存のものに対して後方支援することも良いのでは。
- ・世田谷区に「みつけば」というピアサポートの方々が開催している施設有り。